

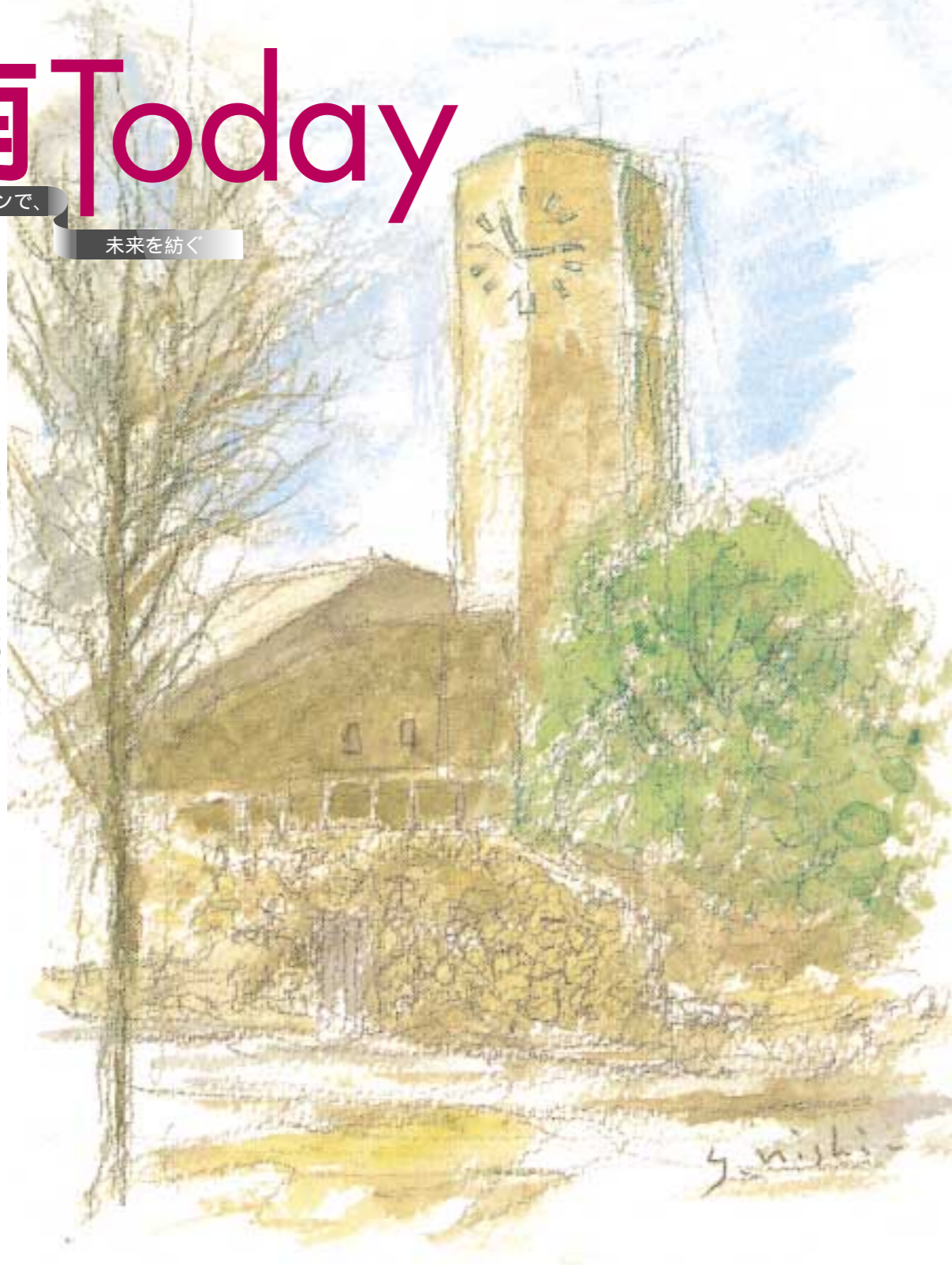
甲南Today

甲南ピープルのリレーションで、

未来を紡ぐ

No. 10
2002.5

甲友統合記念号



甲南Today No.10

2002年5月31日発行 【発行】甲南学園広報室 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341(代)

鳩杖

鳩杖とは、
三館1階学園史料展示室にあるこの杖は、学園の創立者平生鈞三郎先生
が1945年に枢密院顧問官の功績により賜ったものです。学園の歴史を知っ
ていただき、平生先生の建学の精神を継承したと願い、甲友の「三」の欄の名
を引き継ぎました。

入学すると英国のパブリック・スクール
がモデルだといわれた／英国の貴族学
校にはその学校限りの方言があるとい
う／私の時代には本校限りの方言があ
った／むさる／が、怒ってる／、「冗談
や思ったらあいつほんまにむさつ」と
か／蒸し器がぼ／ぼと湯気をあげている
イメージがあつて／ユ／モラスな言葉で
今も仲間うちでは使つ／「チル」はいつ
せいに教室を空にすること／先生も心
得て校庭にぶらぶらしているのを集めて
裏山で授業した／一人だけ断固チラな
いのがいて判事になつた／何々が来てる
「来てへん」とは私の学年だけの方言か
もしれぬ／今日はいい天気や、「チリ」
来とつよ／「そんなこと、やり」来て
へん／「あいついつも来るの遅い、待ち」
来てへん／帰る／帰る／意味がおわかり
だろつか／それをする（しない）のが
TPOに適っている」といつ／こと／発音
はのんびり／どこかひと／こと／むさつて
も頭に来るのは野暮／まず暴力もイジ
メもなかつた。



中井久夫教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・
医学博士。昭和9年奈良県生まれ。
甲南中学・甲南高校を経て昭和34
年京都大学医学部卒。精神医学
者として治療と研究に従事する。
平成9年4月から文学部人間科
学科教授。『精神医学の経験』全
8巻他、著訳書は多岐にわたる。



1942年卒業アルバムより



KONAN

インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

What's New! KONAN
甲友 甲南Today 統合特別編
甲南トップ対談 池上理事長×吉沢学長
いまでも甲南に息づく、個性尊重の精神
NETWORK KONAN
特集「つながる」KONANネットワーク
めざせ!!自分らしい就職

表紙の絵



西井義晃 画「甲南大学講堂 時計台」
今回より1年間、甲南Todayの表紙を飾るのは、キャンパスの様子を優しい筆遣いで描いた西井さんの水彩画作品を予定しています。第一回は、甲南大学講堂。先の4月21日(日)には、オール甲南の集いで大いに賑わった建物を、味わい深い作品としてご紹介しました。

西井義晃さんプロフィール

1961 甲南大学経済学部卒業
1955 新制作展出品
1957 自由美術家協会展出品
1965 自由美術会員
1972 自由美術退会
以降無所属にて、東京・大阪を中心に全国で個展活動。ヨーロッパ、中近東、中南米、モンゴルなど取材旅行32回
次のURLでも作品集をご覧いただけます。
<http://webgarou.net>

特別編 2

WHAT'S NEW! KONAN
甲南トップ対談 池上理事長×吉沢学長
いまも甲南に息づく、個性尊重の精神

特集1 5

NETWORK KONAN
「甲南の」KONANキッズ
めざせ!!
自分らしい就職



特集2 9

Welcome! 誌上ゼミナール
この日の学生発表は・・・
”神風特攻隊の現代へのメッセージ”

特集3 11

甲南を使いこなそう!
キャンパス徹底ガイド
インフォメーションボード/5号館/生協食堂/生協書籍部/図書館
学生会館/六甲アイランド体育施設/広野グラウンド

13

世界でつながる!
WORLD NET KONAN
甲南から世界へ世界から甲南へ
WORLD NET INTERVIEW
世界で出会う新たな発見
それが国際人への第1歩

15

創立より、いまへ受け継ぐスピリット
50th Anniversary
クラブつながりレイシオン
体育会サッカー部
文化会古美術研究会

17

PICK UP HIGH TOPICS
イリノイとも提携!
拡がる、交換留学ネットワーク

18

トリーヌ甲南学園たより
言葉の壁うて、美は大したことない
話せなくても、友達はずれず

19

第一線で活躍中の卒業生にアクセス!
IT'S KONAN STYLE
決して一番手に甘んじない
この精神こそ、甲南で得た財産

20

甲南フォーラム

甲南トップ対談 池上理事長×吉沢学長

いまも甲南に息づく、個性尊重の精神



“甲友”甲南Today 統合特別編

「天才はすべての人にある」と信じた平生鈞三郎によって設立され、以来80年以上もの歴史を刻んできた甲南学園。社会の情勢はめまぐるしく移り変わり、教育の現場も大きく変化したが、創立当初の個性尊重の精神は、いまも学園に息づいているのだろうか。卒業生向けに発行していた広報誌「甲友」と統合し、より多くの方に読みいただけることとなった本号を一つの機会と捉え、今期より就任の池上理事長、再選を果たした吉沢学長に、その答えを問うかけた。



個性尊重の精神を“発展させる” 甲南のネットワーク

今年の4月に就任された池上理事長は、甲南OBですね。「自身の体験から、甲南学園の掲げてきた個性の教育とはどのようなものだったとお感じですか。」

池上理事長(以下理事長)「僕の頃はね一言でいえば何でも自由にやらせてもらえる雰囲気がありました。先生方は成績の評価にこだわらず、その学生のいい部分をどう伸ばすかを真剣に考えてくれていた気がします。そんな学生時代を送っていたら、いまの僕はなかなか“いいね”」

吉沢学長(以下学長)「理事長は、紫綬褒章や科学技術庁長官賞、特許庁長官賞など、数々の受賞を果たしておられますが、いまのお話からすれば、それらの輝かしい功績も、ひょっとして甲南教育のたまものと言えるのではないですか」「理事長「はい、まさにそのとおりですね。僕が評価されたのは、異業種交流など行われていない頃、財閥の壁でバババになっていた優れた企業同士を結びつけ、まったく新しい造船のシステムなどを作り上げたからなんです。これは甲南卒だからできたことです。といっても、何かすごい技術があるわけじゃなく、僕がそれぞれの企業のトップに直接会って話をまとめただけなんです」

学長「大したことはないと言っても、そんなこと普通の人ではなかなかできないでしょう。とにかく、たぶん思いつきもしない笑」

理事長「ところが僕は学生時代から同じことをしていったんです。陸上競技部のマネージャーをやっていたとき、運営資金が足りなくなったら、どうしたと思います? 近くの企業の社長に直接会いに行き、いくらか援助してもらったんです(大笑)。というのも、僕の学生時代は、甲南生、

わつたけれど、僕は甲南に流れているものは何も変わらないんじゃないかと思えます。例えば、一貫教育というシステムもそう。通常の高校受験、大学受験と3年ごとに大きな節目があるの

でその間の勉強は、どうしても試験をパスするためのものになりがちですが、甲南では、より長いスパンの中でじっくりと個性を伸ばす教育を行ってききました。これはずっと受け継がれてきたし、今後ともきちんと継承していくべきものでしょう」「つまり、個性を尊重する甲南の教育は、時代が変わっても変わらない」

学長「いえ、正確に言えば、私たちがめざしているのは、継承していくことではなく、むしろ発展させていくことなのです。最近の取り組みで言えば、例えば、今年からスタートしたEBA総合コースがあります。このコースはアメリカ・バブファード校への一年間の留学を必修として組み込む35人の少人数制教育により、より専門性の高い人材、いわば突出した個性を育成していることになっています。あるいは、平成16年度から始まる口一スクール(法科大学院)。これは、司法制度改革により広がった可能性を、企業経営への関心を強く持つ甲南の伝統のなかで生かそうとの構想のもとに企業法務で活躍する人材育成にも力を注いでいきます」

理事長「そして、これらの取り組みは、実は一部の学生だけを対象とするものではありません」

甲南卒というだけで企業トップが直接会ってくれましたからね。こういうことが意外と僕ら甲南生の中では当たり前だから、ほかの人とは違う発想ができたというだけなんです」

学長「そんなことがあったんですか(笑)。」

と聞いて、理事長のお話を聞いて改めて感じたのですが、甲南のOBは、人と人のネットワークを作っていくのがうまいですね」

理事長「ネットワークですか」

学長「そうです。私は個性というものの本質は人とコミュニケーションしながらしていく力だと思っています。個性という個人だけで完結することのよさに聞こえますが、極端な話、無人島に一人なら、個性などないわけです。やはり、人と向き合うからこそ、その人の個性がわかり生かされると思うのです。甲南OBが人脈を上手に築いていく姿を見ていると、個性尊重の教育の一つの成果ではないかと思えますね」

ただ、学園の様子は年々変化しつつあります。個性尊重とはいっても、例えば、学生数が現在10,000人にも及んでいますし、先生の目が一人ひとりに届きにくくなるなど、失われてしまった部分もあるのではないしょうか。」

理事長「その点では、ちやうと面白い話があります。先日、甲南中・高の校長先生からうかがったのですが、彼は生徒の誕生日が来る、必ずパスポートを送るそうなんです」

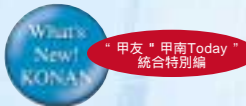
学長「全員にですか?」
理事長「そうです。僕が驚いたのは人数のことでもそうですが、そんなメールを書く、うと思つたら全校生徒のことをよく知っていないければ書けないじゃないですか。しかも、担任の先生ではなく、校長先生自らがこうですから、時代は確かに変

この点も強調しておきたいですね」
と、いいます。

学長「つまり、私たちは、直接の対象となるのは少数でも、これらがもたらす教育効果は、大学全体に及ぶものと見ています。例えば、EBAの学生がキャンパス内で知り合った学部コースの学生に、世界に目を向ける面白さを実感として伝えたり、口一スクールが法学部の学生の憧れになったり。先ほど、ネットワークと言いましたが、新たな取り組みで磨かれた個性が、甲南大学というネットワークの中で、自分や他者の個性をさらに引きだし、活性化していく。これこそ、これから甲南が発展させていく個性尊重の教育ではないかと」

理事長「学園自身が明確な個性を持っているという点も、これまでに以上に重要でしょうね。キャンパスが個性的であればこそ、なんとなく受かったから通うのではなく、甲南に行きたいという目的意識の強い学生が集まる。そうすれば、先ほど学長がおっしゃったような個性の相乗作用がさらに活性化するわけです。そこで僕が打ち出したキーワードは、「創造する」「リードする」「真似られる」。つまり、社会がいま求めていることに追いついた教育を行うのではなく、つねに洞察力をもつて未来を見据える姿勢。これを実現していくことを第一に考えています」

これから甲南の両軸となるお二人のお話から、次第に明らかになってきた、未来の学園の姿。80年以上前に掲げられた個性尊重の精神は、失われるどころかますます発展を遂げていくでしょう。



甲友 "甲南Today" 統合特別編

甲南トップ対談 池上理事長 × 吉沢学長

いまも甲南に息づく、個性尊重の精神

“創造する”“リードする”
個性の教育には、学園自身の独自性が必要

IKEGAMI YOSHIZO 池上 吉藏

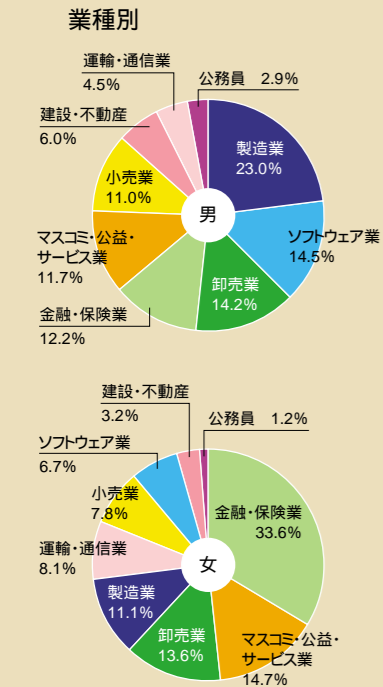
The Chairman, Board of Trustees, Konan Gakuen

1932年兵庫県生まれ。甲南大学経済学部卒。甲南学園評議員、常任理事を歴任し、学園経営に深く携わる一方、甲南大学非常勤講師を務め、また、第一線で活躍する企業人でもある。2002年4月より理事長に就任。

吉沢 英成 YOSHIZAWA HIDENARI

The President, Konan University

1941年東京都生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程。専門分野は、貨幣論、とくに貨幣の社会経済学、文明論的考察。1998年4月に学長に就任。2002年4月に再任。



めざせ!! 自分らしい就職

就職難と言われて久しいにも関わらず、近年では、企業で勤め始めた新入社員のうち、せつかく決めた仕事をわずか3年以内で辞めてしまう人が3割にも及ぶという。なぜ、こうした離職が相次いでいるのだろうか。自分に合う職場を探すには、どうすればいいのだろうか。学生の就職活動を全面的にバックアップしてきた就職部長と、進路にこだわり抜く卒業生・在学生の4人に、そのヒントを尋ねた。

一人ひとりに適した就職を支援
実績以上に、その中味を追求したい



中田 善啓 就職部長(経営学部教授)

いま新卒者の離職が相次いでいる大きな原因は、企業と個人のミスマッチが増えているためです。どういつことかと言えば、社会全体が就職難とされていることで、学生はつい内定獲得に焦り、肝心の仕事の中身を二の次にしてしまつていった現象が起きているようです。しかし、言うまでもないことですが、内定は「ゴール」ではありません。就職活動に挑む学生の皆さんは、この機会を通して、自分の生き方に合った企業を選んで、自らの能力を開発し、生かしていくことを考えて就職活動をするべきです。

では、自分の生き方に合った企業に就くための「就職」活動とはどんなものか。まずは、できるだけ早い時期から自分の将来について意識することが大切です。そして、しっかりと情報の収集・分析をし、めざす業界や企業について知ることです。また、よく「自己分析」といいますが、自分は何がしたいのか、何ができるのかをじっくりと考えてください。この3点に気をつけて活動すれば、いざ就職したときに「こんなはずじゃなかった」というようなことはなくなると思います。

もちろん就職部でも、そんな学生

の皆さんを支援する体制を整えています。例えば、できるだけ早くから将来を意識するという部分では、1年次から参加できる「甲南就職講座」を開催しています。さまざまな業界から招いた講師による仕事の現場を垣間見ることや、自分の道を見つける手がかりとなります。また、徹底した情報の収集・分析を行うつてもらおうと、3・4年次生を対象に「業界研究セミナー」「OB・OG懇談会」を実施しており、企業の動向や仕事の実態について、本人が納得いくまで探ることが出来ます。それからもう一つ。見落としがちですが、充実した大学生活を送ることも重要なポイントと言えるでしょう。企業ではいま「コミュニケーション能力のある人材を求めています」が、それは、同年代の友達と付き合うことだけでは身につけることができない

いものです。大学の授業やゼミを通じて先生と議論することや、学問の深い見識を得るとともに、その他さまざまな経験や価値観を修得し、人間的に成長することが必要なのです。最後に、就職について疑問や悩みがあれば、いつでも就職部に来てください。就職部ではスタッフが学生からの相談についても個別に対応する

支援体制や、就職情報を欲しいときに素早く入手できる独自の就職情報検索システムを完備し、一人ひとりが自分のめざす進路をしっかりと見据えていけるよう全面的なサポートを行っています。この充実した環境を活用することが、きつとあなたにとって自分らしい就職を実現する近道となるでしょう。

就職情報検索システムとは?

インターネットを利用して、甲南大学が受理した求人票やセミナー案内のデータを、自宅をはじめ、あらゆる場所から閲覧できるシステム。

学内・学外のPCからインターネットで就職部のホームページにアクセス

- まずは甲南大学就職部のホームページにアクセス
<http://www.adm.konan-u.ac.jp/ps>
- 「在学生の皆様へ」の中の「就職情報検索システム」をクリック
学外からの利用時にはIDとパスワードが必要です

最新求人一覧
甲南大学就職部が受理した求人票を一覧表示。各企業のホームページともリンクしています。

最新企業対応情報
就職部に来られた企業の人事担当者から得た採用情報が閲覧できます。

各種検索
企業名・業種・職種などからの求人検索、開催日・開催期間からのセミナー検索、採用実績・本社所在地・従業員数・卒業生の有無などからの企業検索が利用できます。



田井中 祐作さん 経営学部 4年次

Tainaka Yusaku

思い悩むだけで、
いい職場なんてわからない
将来の夢を固めるには、
実際に仕事を体験するべき

僕は、3年次に経営学部の授業の一環であるインターンシップ・プログラムに参加。実際に職場を体験したことで、将来の夢をはっきりさせることができました。というのも、僕は以前から経理という職種に興味があったのですが、一方ではオフィスにこもってやる地味な仕事というマイナスイメージを持っていました。ところが、実際に体験した職場では、経理は経営に直結する大切な仕事と位置づけられており、自分の仕事に誇りを持っている人ばかりだったのです。おかげで、もっと経理の仕事の現場を知りたいと思うようになり、3年次の3月に企業が独自に行っているインターンシップにも参加することにしました。このときは正直、就職活動に大切な3月がつぶれてしまうという焦りはあったのですが、インターンシップで学べることの大きさを知ったから、どうしても、もう一度挑戦しておきたい。結局、そんな熱意が伝わったのか、その会社から内定をもらうことができました。このように、会社と自分とがお互いをじっくりと吟味できるのもインターンシップの利点。納得のいく就職をするために、ぜひ参加をおすすめします。

田井中さんの自己実現プロセス

STEP 1
3年次夏
インターンシップ
制度を利用して、
会計事務所で
研修

STEP 2
3年次3月
企業が独自に行う
インターンシップ
に参加

STEP 3
インターンシップ
が縁で、大手電機
メーカーに内定

STEP 4
現在 授業に
積極的に出席。
入社に向けて
さらなるステップ
アップをはかる

周りに流されず、自分の道を歩む
立ち止まることもときには必要

森 隼人さん
大学院社会科学部研究科法学専攻 修士課程 2年次
Mori Hayato

僕は大学に入学した頃から弁護士になりたいと思っていましたが、大学生活の中でいろんなことに挑戦するうち、本当は何がしたいのかがよくわからなくなってきて、3年次末になり、周囲は就職活動でバタバタしはじめたのですが、ここで焦って一般企業へ就職するよりは、ゆっくり自分の進路を見つめ直そうと、4年次の1年間を休学し、オーストラリアで過ごすことにしたんです。結果的には、これが正解だったと思います。英語力を身につけただけでなく、いろいろな国の人と出会い、話し合った経験から、国際的なトラブルに対応できる弁護士になりたいという将来の具体的なビジョンを見つけることができました。そこで帰国後は、就職活動を一切せず、司法試験合格をめざして大学院に進学。独学でなく、大学院を選んだのは、先生との関わりの中で学びたいと思ったからです。弁護士はつねに生身の人間が相手の職業ですから、テキストの知識だけではなく、先生と議論しながら学べる環境で、コミュニケーション能力も身につけていきたいと考えています。



森さんの自己実現プロセス

STEP 1
弁護士を
めざして
法学部に入学

STEP 2
4年次 休学し、
オーストラリアへ

STEP 3
帰国後、
大学院に進学

STEP 4
現在
司法試験に挑戦



本当にやりたいと思うことを見つけたら、
どんな高い壁だって、越えられる

宮脇 尚子さん
経済学部経済学科 2002年卒業
芦屋市役所勤務
Miyawaki Naoko

3年次の秋までは、実はあまり将来のことを考えたことがなかったんです(笑)。でも、ゼミ(経済学部 熊沢 誠ゼミ)で女性の労働の実態を学び、一般企業の仕事の現場での男女差別が強いことを実感してからは、女性が長く続けやすい職業ということで公務員をめざすようになりました。ところが私の場合、公務員になると決めたのが他の人よりずっと遅かったから、それからはもう死にものぐるいで勉強しました。年が明けてから試験のある4年次の8月まで、手帳には遊びの予定がまったく書き込まれていなかったほどです。ただ、そうやって試験勉強に必死に打ち込んだことは、知識がただでなく、私の中で「やり抜いた」という自信に。面接にも落ち着いて挑むことができ、採用につながりました。そして、私がこれだけ頑張れたのは、公務員が私にとって本当にやりたいことだと思えたから。将来は、大学で学んだことを生かして、女性の立場を向上させるための政策を考える仕事をしていきたい、いまからいろいろ考えています。

宮脇さんの自己実現プロセス

STEP 1
3年次
ゼミで企業の
実状を研究

STEP 2
3年次10月
公務員を志す

STEP 3
3年次後期
~4年次8月
とにかく猛勉強

STEP 4
2002年4月
芦屋市役所に
採用

夢を決してあきらめないこと
遠回りしても、経験は必ず生かされる

三木 礼子さん
経済学部経済学科 1998年卒業
2001年 米国公認会計士(USCPA)資格取得
Miki Ayako

大学時代に交換留学制度を利用してイリノイ大学に留学。アメリカの自由な空気に触れ、将来はグローバルに活躍できる仕事に就きたいと思うようになりました。そこで大学卒業後に就職した情報通信サービス会社で、国際的な部門を希望しましたが、実際に配属されたのは国内の営業。3年間働いたものの、どうしてもこのまま終わりたくなかったので思い切って退社し、米国公認会計士(USCPA)をめざすことにしました。それからは、卒業生でも利用できる甲南のサイバーライブラリの資格試験学習室で勉強。昨年3月に退社してから11月まで、ほとんど毎日通いつめ、その甲斐あってなんとか合格できました。3年間の会社勤めは遠回りのように思われるかも知れませんが、提案書を作ったり、プレゼンをしたりという貴重な経験ができたので、私にとっては間違いなくプラス。これからはその経験も武器に、アメリカで働く夢を実現したい。将来的には会計学修士の学位にも挑戦しようと思っています。

三木さんの自己実現プロセス

STEP 1
3年次
イリノイ大学へ
交換留学

STEP 2
卒業後、情報通信
サービス会社に入社。
営業部に配属

STEP 3
3年で退社。
USCPAを
めざして猛勉強

STEP 4
USCPAの
資格取得



教授はこの人！



宮城ゼミDATA

所属学生数 / 21名(2・3年生)

主な研究テーマ

- 関ヶ原合戦前後
- 日本人と肉食
- 近代の公娼制と従軍慰安婦
- 新撰組をめぐる
- 武士道と現代

教授からのメッセージ

史実に目を向けると共に、
まず、自分を見つめる。
それが、宮城ゼミの特徴。



歴史の研究は、興味があれば、誰にでもできますし、なかなか面白いものです。しかし、膨大な歴史を検証していくうち、最初の目的がわからなくなり、結局挫折してしまう人が多いのも事実。ウチのゼミでは、そうならないよう、研究の中身と同じくらい、その人がどんな想いでそのテーマを選んだかを重視しています。歴史に興味がある人は、私たちと一緒に、まず、自分探しから研究をはじめませんか。



毎回、好きなテーマについて調査してきた2・3人が発表を行う。終了後の討論では、それまで黙っていた宮城先生からも鋭い指摘が。



2年次生、3年次生が合同で参加する宮城ゼミ。1年先輩の調査報告を聞くことから、2年次生は、テーマのつきつめ方を学んでいく。

Seminar Theme

日本の近代史

文学部歴史文化学科
宮城 公子 教授

江戸幕府成立期から、20世紀初頭までの日本社会の特色について、どのような過程を経て、現代の民衆生活が形成されていったかという視点から考察していく。



ようこそ！知のテーマパークへ

Welcome!
誌上ゼミナール

この日の学生発表は・・・
“神風特攻隊”の現代へのメッセージ

潔い神風特攻隊は、
軍国主義の描いた偶像!?

アジア太平洋戦争末期の日本軍の「神風特攻隊」は、多くの若い兵士たちが生還を期待することなく敵艦に体当たりした玉砕戦法として国内外に知られている。「お国のために」を合い言葉に、特攻隊員たちは深く笑って飛び立ったとも伝えられる。

この日、宮城ゼミで「さん」が行った発表は、「この特攻隊が組織された事情を探り、一般に志願制と言われたことの当否、その戦術効果自殺を禁じたキリスト教国の人々との死生観の相違などとその全貌に迫ろうとしたものであった。「さん」は報告の最後を、「いまはもうそんな時代じゃない」的な言葉が似合うが、それだけでは済まされない、重い、現代日本に投げかけるメッセージが神風特攻隊にはあると思う」と結んだ。

宮城教授はこの報告に対し、「その評価はどうであれ、日本の過去に『神風特攻隊』が存在したことは歴史的事実であり、その事実を直視し、記憶を忘れないはならない」とことからゼミテーマとして大変適切であり、また面白いという評価をした。

「さん」はゼミでこのテーマを選んだ理由について言及。叔父さんに特攻隊の経験者があり、その話を聞いたことが調査を試みた直接の動機だったというが、宮城教授はこれについて日常生活の身近なところから、実は切実なテーマがひそんでおり、「さん」のようこそしたモチーフを大切にしてくださいとゼミ生に語った。そのうえで特攻隊を考えるのに軍国主義的な偏見にとらわれることだけは避けようとのちに「さん」を続けた。「戦争を知らない若い世代は、国のために、天皇のために命を投げ出すのが当時の美徳だと言われれば、すんなりと信じやすい。事実、特攻隊の人々の残した遺書には、『召され

をつきつめ、記録する機会と教養にめぐまれたものの記録にすぎず、反戦の声ばかりを集め、当時の大衆の声を反映していないから、資料的価値は少ないとの批判もある。しかし、ホッペを記した苦悩の肉声が残されていることは、逆に紋切り型の遺書の建前の空疎さを対照的に浮かび上がらせる。彼らの遺書をこつた視点から読み直すのも面白いのではないかと宮城教授は指摘する。

自分の日本史を求めて

「この日のもう一人の発表者、Sさんの報告は、日本近代史において女性の洋装化が男性に比べて非常に遅れたのは何故かという問題を扱ったもの。報告によれば、女性が機能的な洋装より民族衣装を長く着ることが多かったのは、日本だけでなく全世界的なことだったらしい。このことは急に目に触れる機会の多くなったブルカ姿のアフガニスタン女性を見てわかる」と同納得した。

宮城教授は、近年の日本史の研究はかつてのようには政治史の事件史ではなく、生活史が中心のトピックとまじり、その点で今日の報告のように、語り伝えられた叔父さんの戦争体験、あるいは古い写真の女性の窮屈な着物姿など、身近な日常生活にテーマを見つけたこと、自分なりの日本史の発見につながる。それそれが「自分探し」をする事がこのゼミの1つの特徴といえる。



昨年ゼミ旅行で知覧特攻基地を訪れる。知覧の特攻隊員は、鹿児島・開聞岳に別れを告げ、南の戦地へ向かった。

来て空の護りに花と散る / 今日の日佳き日に逢うそうれしき」といった歌に見られるような言葉が多く、それらはいまもなお、人々の胸をうち、涙を誘います。そしていくつかの小説が出版され、映画化されました。ただ、考えてもみて欲しい。もし、自分がその立場だったら、そんなに簡単に命を投げ出せるでしょうか。これを何だか変だと思わないと、歴史からは何も見えてこないし、何も学べないとは出来ませんよ。」

勇ましい辞世の句は紋切り型
本當の心を表現していない

「特攻隊は志願者を募って組織されたと言われますから、見、若者たちは自分の意志で、進んで挑んだように見えてしょう。しかしそれはあくまで建前。というより、逃れ得ず引込みのつかない立場とうしてそこに追い込まれたかを考えることが歴史学の面白い点です。」

確かに、よく知られた戦没学生の手記を、わだつみの声」を開けば、「あきらめられない秒時計の針がまわっていく。私の突撃の時、動きのとれない時と、それでも怖れてみることもあるのだ」など、潔さとかげ離れたホッペが綴られ、宮城教授の言葉を裏付ける。もっとも、「わだつみの声」は、自分の内面

ゼミ生の証言

歴史の陰に隠れた「東洋の
マタ・ハリ」川島芳子を追う！



文学部社会学科4年次 演劇 聖子さん

私にとって一番興味深い歴史上の人物は東洋のマタ・ハリとも呼ばれた川島芳子。20世紀初めに清朝王族として生まれた女性とは思えない波瀾万丈な生き方に、実は中学生の頃から憧れていました。でも、これまでは彼女について知りたかったと思って、文献がほとんど残されていないため、思うように調べられなかったんですよ。ですから、宮城先生に、資料の検索をはじめ、史実を裏付ける研究方法を教わったのが、私にとってはとても大きかったです。おかげで、いまはほとんど幅広く知ろうと考え始め、卒論では舞台となる日本と中国の近代史の中で彼女を位置づける研究を進めています。

何度読み返したかわからないという愛読書。





甲南を使いこなそう!

甲南キャンパス

CAMPUS 徹底ガイド

4年間の学生生活を充実させるうえで、キャンパス内の各施設を、いかに上手に使いこなすかは重要なポイント。そこで今回は、その活用法を、日頃から施設をよく知る現役甲南大生の2人に徹底紹介してもらいました。新入生にとって見逃せない情報はもちろん、すっかり知ってるつもりの在生にも、便利な利用法が見つかるかも!?

全学部共通の情報は、ここでチェック!
教務部前インフォメーションボード
教務部前に新しく登場した、ワイドなデジタルインフォメーションボード。教務部・学生部などからのお知らせ、ガイダンスや各種イベント、コンサートの案内、アルバイト募集まで、全学部共通の要チェック情報がここに流される。

パソコンのメニューから一気にデータベースへ!
5号館サイバーライブラリ

日経テレコン21をはじめとする外部データベースやマルチメディアソフトが使える、そのうえ社会系学習用図書も豊富に用意しているサイバーライブラリ。資格取得の勉強に最適なスペース、「資格試験学習室」もあり、土日祝も開館しているなど、目的に応じて徹底的に活用できます。

レポートに必要な情報が欲しい時はここ! 試験勉強をするときも、分からないことをすぐ調べられるので便利です。



CAMPUSレポーター
理工学部情報システム工学科 2年次 中川 美穂さん
自治会中央委員会で頑張っています。これが想像以上にやりがいがあって、毎日が充実。最近のマイブームは、推理小説を読むことです。

CAMPUSレポーター
経済学部経済学科 2年次 大長 敬幸さん
子どもの頃から泳ぐのが好きで、いまも水泳部に所属。目標はインカレ出場です。プライベートでは、最近、インテリアの魅力にハマっています。



ほぼ毎日、ここでランチ。授業の空き時間も、友達とお茶しています。

安い、おいしい、ボリューム満点! 三拍子そろった生協食堂



安くておいしいわゆる「学食」。栄養面的にも◎だから、とくに一人暮らしの学生にはうれしい。バラエティ豊かなメニューが並び、3階ではサラダバイキングなども

授業の空き時間、よく友達と一緒に雑誌をチェックしに来ています。



書籍5〜10%OFF! インターネットでの購入もできる書籍部
教科書をはじめ、専門書、一般書、文庫、雑誌、洋書まで、幅広く取り揃えている。しかもほとんど5〜10%OFFという特権付き。英検や各種講座などの申し込みも、ここで受け付けてもらえる。

「食堂がいっぱいで代わりの場所が欲しい!!」なんて時にも使えるよ。



個人的な目的でも利用OK! 学生会館

学生の自主的、創造的な活動をサポートするための施設。会議室や小ホールなど、甲南大生なら誰でも利用できる。クラフの部屋がわり、ゼミの打ち合わせにと、どんな使い方もOK。



今まではチラシを取らないと見逃していたような情報も、すかさずゲットできるようになりました。

図書館ではDVDで映画も見られる
約38万冊もの図書はもちろん、マルチメディアも充実。なかでも魅力的なのは、オーディオコーナー。いま、話題のDVDで注目の映画をゆったり観賞でき、新作の導入も早い。



授業の空き時間を過ごすのに最適。意外と知られていないスポットなんですよ。

合宿もできる 広野グラウンド

神戸市西区神出町の自然豊かな環境の中に広がるグラウンド。野球場、陸上競技場、馬術部専用の馬場のほか、自由にスポーツが楽しめる。よう各種運動用具も用意。72名まで泊まれる合宿所もある。



サークルのスポーツ イベントなどもここで! 六甲アイランド体育施設

甲南大学から車でわずか20分、六甲アイランドにある総合体育施設。総面積約80,000㎡もの敷地内には、野球場、球技場、和洋弓場、グラウンドのほか、トレーニングルームやシャワー室完備の体育館も。



晴れた日はここで集合! 平生寿像前広場

緑に囲まれたキャンパス内のなごみスポット。サークルのメンバーが集まり、読書をしたりと、いつもにぎわっている。甲南学園の創立者平生夙三郎先生の寿像もここに。



甲南から世界へ 世界から甲南へ

各国の提携校との強い連携により、
海外で、そして学内で
国際交流を実現

甲南大学では、学生たちの国際的な視野を養うために、協定大学に1年間留学する「外国留学制度」、夏期休暇を利用した「海外語学講座」、船上で異文化に触れる「大学洋上セミナー」など、多彩な国際交流プログラムを実施しています。このうち、「外国留学制度」は長期に及ぶため、とくに学生の負担を軽減し、一人でも多くの学生が留学できるように配慮。留学先で取得した単位を卒業必要単位に加算し、休学せずに留学できるようにしているほか、日本国際教育協会など外部奨学金に該当しない学生に、甲南学園学習奨励金として一時金15万円(H14実績)を支給するなどしています。また、その他にも留学には何かと不安がつきものですが、受付窓口となる国際交流センターでは、経験豊かなスタッフが、留学先やコースの選択、出国までのさまざまなアドバイスや支援を、きめ細かく行いますので、安心して参加できます。

また他方、海外の協定大学側から毎年50人近い多数の外国人留学生が来日していることも、本学の大きな特長。学生自治会が運営するIEC(国際交流委員会)では、つづいた留学生と甲南大生、あるいは岡本・神戸地域の人々の活発な交流の場づくりを行い、「国際意識の向上」をめざしています。そのため、たとえ留学に参加しなくても、キャンパス内の交流によって国際的な視野を身につけていくことができるのです。

多様なサポートを実施

国際交流センター

国際交流センターでは、日常的なサポートはもちろん、留学フェアや留学説明会などの機会を設け、留学を希望する学生への相談や情報提供を積極的に行っています。

留学フェア

4月3日に学内で開催。前年度の本学留学生と各協定大学から本学に留学中の学生が、本学の留学制度に興味のある学生に、制度の詳細を説明し、相談に応じました。



留学説明会

留学を希望する学生を対象に、地域やコースごとの説明会を実施しています。4月23日にはカナダのピクトリア大学の担当者が来日し、海外語学講座のオリエンテーションで大学や講座紹介を行いました。



学生自治会国際交流委員会

ウエルカムパーティをはじめ、スキーツアーやもちつき大会など、留学生と交流するさまざまな企画を、学生が主体となって実施しています。

International Party

5月2日、平生記念ホールハウスにて、交換留学生、甲南大生、近隣住人ら約160人を集めて開催。大学近辺の店舗をはじめ、射的やスーパーボールくいの縁日が出店し、活気あふれた楽しいパーティとなりました。

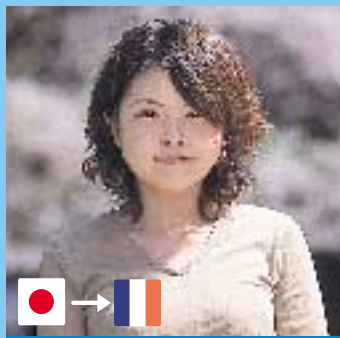


世界で出会う新たな発見 それが国際人への第一歩

主張なしでは、認められない国で、
“自分を持つ”ことの意味を実感



実は私、以前に、オーストラリアとカナダに行ったことがあり、そのとき、ホームステイで、言葉も文化も違う外国の人と家族同然に付き合っただけにも感激したんです。大学の「海外語学講座」に参加したのは、またあんな体験をしたと思ったから。今度は英語圏以外の国にしようとして、フランスを選びました。ところが、現地を待っていたのは、予想に反して、ホストファミリーのさっぱりした態度。朝食の準備や洗濯など、とにかく身の回りのことは自分でしなければならぬという雰囲気でした。いまままで体験してきた家庭では、必要以上に面倒見がよかったです。ここではほとんど構ってもらえない。最初は、どうしてこんな対応を受けなきゃならないんだろうと少し戸惑いました。でも、過ごしていくうちに気づいたのは、何もこの家庭が特別ではなく、フランス人は相手の個性を大切にして、必要以上に干渉しないということ。例えば家族でも、お互いが一人ひとりの人間として自立し、自分を主張してこそ、認められるのだと知りました。今回の留学では、最後は国柄の違いに気づき、家族と打ち解けられました。言葉がうまく話せなかった分、私は自分を出し切れなかったと思います。だから、いまは、頑張っただけです。



法学部経営法学科 3年次
森崎 美夏さん
2001年7月～9月
フランス・トゥール大学(トゥール・ヌ語学院)での海外語学講座に参加



リーズ大学(イギリス) 3年次
Jack Carradineさん
2001年9月～2002年5月
甲南大学へ留学

相手の良い部分は、どんどん自分に
日本で知ったのは“ 他を認める ”大切さ



僕にとって、日本への留学は、ずっと想っていた夢の一つ。といっても、きっかけはたいしたことではなく、実は、ゲームやコンピュータを好きだったことがそもその理由なんです。この分野では、いま、ソニーや任天堂、松下といった日本の企業が、世界の先端をいく技術力、発想力を発揮しているでしょう。僕はそんな企業にとっても興味を持ち、その土台となる日本という国を、ぜひ自分の肌で知りたいと思いついていました。ですから、念願かなって甲南大学へ来てからは、短期間で、少しでも多く日本を知ろうと積極的に活動。講義と宿題に追われる忙しいスケジュールをこなしつつ、日本の学生や他国から来ている留学生たちと京都の寺院、広島の平和公園などを散策したりしています。日本らしい街並みを歩いたり、戦争の悲惨さを目の当たりにするなど、それぞれが僕にとって本当に貴重な体験となりましたが、そんな中で意外だったのが、実は、地下鉄がとても快適なこと。なぜなら、地下鉄はもともと、イギリスで生まれた技術なのに、それがイギリス以上に発達しているからです。そういえば、日本経済が急激に発展したのはアメリカの手法に習ったからというし、他国のいいところを上手に取り入れるのは日本文化の一つかも知れない。今回の留学で、日本企業の強さの秘密が、少しわかった気がします。



▲昭和40年10月文化祭展示「吉村邸民家」

平成13年4月28日 薬師寺 新歓見学会



昭和36年8月15日 神戸新聞「播丹版朝刊」

いまの恵まれた研究環境は、受け継がれてきた情熱の成果

1期生 辻 彰さん、11期生 真岡 敏克さん、学生:藤川智子さん・吉田豊さん・川口航一さん

「初蹴り」も兼ねて大いに賑わいます。世代ごとチームをつくって試合をするのももちろん、新成人のお祝い、4回生の引退式、還暦を迎えたメンバーへの赤パンツ・ユニフォーム式の贈呈式とせしめても盛りだくさん。とくにこの赤パンツには、とても意義があるんですよ。永年わたるOB会への貢献に感謝し、60才になっても短パンで走り回る元気を持ってくださいねというみんなの気持ちなんです。楽しんで話すOBに、現キャプテンも笑顔。親子ほど年の離れた一人が気軽に向き合える姿からも、日頃の交流の深さがうかがえる。イベントだけでなく、普段の試合にもいつも応援に来てくださって、とても力になっていただいています。それだけ期待されているんだ。フレスジャーも大きいけど、それをバネに頑張れます。とくに私たちがOBは甲南サッカーを愛する気持ちがあるんですけど、現役を退

OBと現役との交流が、これほど盛んなクラブもそうないという甲南サッカー部。とくに成人の日に行われるイベントは、一年のうちで最も盛大。OB、現役はもちろん、甲南中高のサッカー部員やそれぞれの家族まで、今年も200名近くが集まりました。OBと現役との交流が、これほど盛んなクラブもそうないという甲南サッカー部。とくに成人の日に行われるイベントは、一年のうちで最も盛大。OB、現役はもちろん、甲南中高のサッカー部員やそれぞれの家族まで、今年も200名近くが集まりました。

- 【創部】1952年
- 【部員数】29人(2002年5月現在)
- 【主な実績】
- 昭和27年 発起人6名で古美術鑑賞会を創部。第一回見学会(桂離宮と西芳寺)
- 昭和29年 開学記念大学祭講演会(講師に薬師寺の高田好胤師を招く)
- 昭和30年 研究誌「古美術」創刊。米・国会図書館に収まる(1~4号まで)
- 昭和35年 亀井勝一郎先生を招き、公開講演会「上代と現代」を開催
- 昭和38年 写真と地図入り72ページのガイドブック「兵庫の古美術」を出版
- 昭和39年 写真展「兵庫の古美術」を開催(神戸・大丸百貨店にて)
- 昭和47年 兵庫県知事より「くすのき賞」を受ける
- 昭和52年 京都府知事より感謝状を受ける
- 昭和54年 創立25周年「記念誌」刊行
- 現在 研究会・見学会などを中心に活動し、薬師寺での奉仕活動なども行う

お知らせ
下記の日程で記念行事を開催します。会友の方で案内状が届いていない方は、古美術研究会までご連絡ください。
日時/平成14年6月15日(土) 11時~15時
会場/甲南大学5号館521講義室
内容/山田法胤薬師寺執事長(相談役)・三杉隆俊先生・和中伸二先生(指導者)の講演会とレセプションを開催します
連絡先 / 〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学文化会古美術研究会 TEL 078-452-3299(文化会)



神戸新聞でとりあげられた創部50周年記念誌



昭和30年 第4期生

OBとの交流は、どこよりも盛ん 世代を越えて熱い甲南サッカー部

4期生 上中啓史郎さん、部長・監督 桂 豊保健体育研究室助教、学生:国本正博さん(主将)

OBと現役との交流が、これほど盛んなクラブもそうないという甲南サッカー部。とくに成人の日に行われるイベントは、一年のうちで最も盛大。OB、現役はもちろん、甲南中高のサッカー部員やそれぞれの家族まで、今年も200名近くが集まりました。「初蹴り」も兼ねて大いに賑わいます。世代ごとチームをつくって試合をするのももちろん、新成人のお祝い、4回生の引退式、還暦を迎えたメンバーへの赤パンツ・ユニフォーム式の贈呈式とせしめても盛りだくさん。とくにこの赤パンツには、とても意義があるんですよ。永年わたるOB会への貢献に感謝し、60才になっても短パンで走り回る元気を持ってくださいねというみんなの気持ちなんです。楽しんで話すOBに、現キャプテンも笑顔。親子ほど年の離れた一人が気軽に向き合える姿からも、日頃の交流の深さがうかがえる。イベントだけでなく、普段の試合にもいつも応援に来てくださって、とても力になっていただいています。それだけ期待されているんだ。フレスジャーも大きいけど、それをバネに頑張れます。とくに私たちがOBは甲南サッカーを愛する気持ちがあるんですけど、現役を退

OBと現役との交流が、これほど盛んなクラブもそうないという甲南サッカー部。とくに成人の日に行われるイベントは、一年のうちで最も盛大。OB、現役はもちろん、甲南中高のサッカー部員やそれぞれの家族まで、今年も200名近くが集まりました。後輩思いのOBたち、先輩を慕う現役たち、そんな両者の間に立て、一緒にクラブを支えてきた現監督も、そのつながりの強さを強調する。「僕は平成元年に1チとしてここに来ましたが、それまで見てきたこのクラブよりも甲南サッカー部の団結力は強かった。この環境を生かして、現役学生には、サッカーだけでなくいろいろなことを学んで欲しい。たしかに、先輩たちは技能や成績のことは細かく言わないけど、身だしなみや態度に関しては厳しい。人間的にも成長させていってほしい。改めて真面目な表情で話す学生に、大先輩も同じく真剣な眼差しで、メッセージを贈った。そう、サッカーバカにはなれて欲しい。たしかに、先輩たちは技能や成績のことは細かく言わないけど、身だしなみや態度に関しては厳しい。人間的にも成長させていってほしい。改めて真面目な表情で話す学生に、大先輩も同じく真剣な眼差しで、メッセージを贈った。そう、サッカーバカにはなれて欲しい。たしかに、先輩たちは技能や成績のことは細かく言わないけど、身だしなみや態度に関しては厳しい。人間的にも成長させていってほしい。改めて真面目な表情で話す学生に、大先輩も同じく真剣な眼差しで、メッセージを贈った。今年には創部50周年の記念式典を行い、記念誌を発行し、5月11日の神戸新聞で紹介。また、当部OBが社長を務める「ミズノ」の協力によりユニフォームも一新した。甲南サッカースピリットを身に付け、彼らの活動はますます熱く盛り上がる」とだろ。



Paris
Touraine

Topics

地元地域との交流

地元クラブへの参加 サッカー、野球など、学校の枠を越えて地域と交流

トゥレーヌ甲南学園では、学内のクラブ活動のほか、地元トゥレーヌ地方で現地の方によって行われているクラブ活動に自由に参加することができます。地元クラブには、野球、サッカー、水泳、ラグビーなど、さまざまなジャンルがあり、生徒はここで自分の好きな競技のスキルを磨けるとともに、現地の人たちと接することで、コミュニケーション力を身につけることができます。このほか、地元の専門学校の授業を履修した生徒に単位を与える制度なども整っており、学生の幅広い海外体験を支援しています。

イベント NEWS 餅つきなどを通し、地元の人々に日頃の援助を感謝

ホストファミリーをはじめ、日頃お世話になっている地元の方々を招き、感謝の気持ちを込めて行うイベント、地元感謝デーを1月26日に開催。例年通り、今年も多くの参加者が本校に集まり、楽しいひとときを過ごしました。内容は、本校生有志による和太鼓クラブ、阿波踊りの発表からスタートし、メインイベントは季節に合わせて餅つき。餅つきは、実際に、フランスの人々にも参加してもらおうと、慣れない杵と臼に四苦八苦する中にも、にぎやかな笑い声が響きました。参加した生徒、地域の方々にとって忘れられない一日になったと思われれます。



経営学部 1年次
井田 大嗣さん

僕は高校3年間をトゥレーヌ甲南学園で過ごしました。フランスでの体験はじめてのことばかりで、どれも忘れませんが、なかでも思い出深いのは、言葉の壁に直面したことです。といつもの僕がトゥレーヌ行きを決めた理由のひとつ、フランス語をマスターしたいという目標がありました。そこで現地では、学校の授業以外に、寮でも積極的に学習していたのですが、いきなりフランス人と話す、話しているつもりでも、相手には通じなかったんです。高校1年生の夏からは、現地

言葉の壁って、実は大したことない
話せなくても、友達は作れます

トゥレーヌ甲南学園卒業生にインタビュー

のクラブチームで草野球に参加したり、学校のプログラムで、学外で料理の専門学校に通うことを予定していたので、これには、かなり焦りました。ところがダメでもともと、実際に野球の練習や調理学校の授業を受けてみると、フランス語は伝わらなくても、必死でコミュニケーションしようとするうちに、友達ができ始めたんです。そして、友達と次に会うとき、何をどう話そうかという考えを乗り越えて、フランス語がケンカで上達しました。最初は、言葉が話せなければ何もできないと思っていたけど、実は違う。相手に伝えようとする気持ちの方が大切と知り、行動自体が以前より積極的になったと思います。



3年生のとき、ホームステイさせてもらったファミリーと。最初は心配したけど、ホントに打ち解けて暮らしました。

Pick up 高・中Topics

高校交換留学プログラム

イリノイとも提携！ 拡がる、交換留学 ネットワーク

甲南高校では2000年度にイギリスのダリツチカレッジ、オーストラリアのグレゴリーテラス、さらに2001年度にアメリカのイリノイ州立大学付属高と姉妹校提携を結びました。1年間の長期交換留学生の交換は毎年行われています。生徒だけでなく姉妹校の教員が甲南に滞在し、授業をしてくれました。また、甲南フランスアンサンブル部の海外公演はフランス・イギリスで好評を得ましたし、ラグビー部も相互の学校を訪れ、試合・練習を通じ友情を深めました。また、テラス校からの生徒のツアーも甲南を訪れ、本校生徒の家庭でホームステイを体験し、体育祭を盛り上げてくれました。これらの人的交流で始めた関係をさらに良いものにしていくと同時に、日本においてもできるexchangeの交換をはじめとしたさまざまな国際交流活動を、さらに活発にしていこうと考えています。



よく学び、よく知り、よく考えよう。

甲南体験NOW

天体観測など、やりたいことばかりで、留学が待ちきれません。

福島 伸介君
甲南高校1年生



僕は、今年の9月から1年間、交換留学生としてアメリカのイリノイ高校へ通う予定になっています。友達や先生と一緒に生活するなんて全くはじめてのことなので、周りの人からは緊張するんじゃないかとよく聞かれますが、僕にとっては楽しみの方がずっと大きいから、全然そんなことないですよ。例えば、向こうで絶対やってみようと思っていることのひとつが天体観測。僕は小さい頃から星を眺めるのが好きなんです。アメリカはNASAに代表されるように宇宙の研究が進んでいる国だから、新しい発見があるんじゃないかといまからワクワクしますね。そのためにも、ちゃんと英会話力を身につけておかないと。4月からは学校でオーラルコミュニケーションの授業も始まったし、勉強する環境は整っているのでできる限り頑張っていくつもりです。

僕はアメリカでヒットしたテレビドラマ「將軍」を観てから、ずっと日本の伝統的な暮らしに憧れていて。頭を下げて礼をするなど、自分たちと全く異なる日本の生活を、ぜひ体験してみたいと思っていました。ところが、いざ念願になって甲南高校に留学してみると、意外とモダンな雰囲気なので驚きました。といっても、決してガツカリしたわけじゃないんですよ。アメリカではまだ日本と言えば、「キモノ」や「スシ」などでイメージされることが多いのですが、本当は伝統的な部分と近代的な部分をどちらも併せ持つのが、いまの日本とわかり、とても勉強になったと思っています。甲南高校ではほとんどの先生が英語を話してくださるのでコミュニケーションには困らないし、この恵まれた環境でもっといろいろ日本のことを学び、アメリカに帰ったら、友達にも教えてあげたいと思っています。

甲南へきて知ったりリアルな日本を、アメリカの友達にも教えたい。

Karl Larson 君
Thomas More
High School
(米国 ウィスコンシン州)



甲南スピリッツを發揮して社会の第一線に挑む卒業生の活躍をレポートしていくこのページ。今回は、国内シェアの70%を占めるドラムホルメーカー、株式会社ユニオンの代表取締役社長、立野純三さんを訪問。業界トップを走り続ける秘訣を、甲南時代のエピソードにからめてお話しいただきました。

決して二番手に甘んじない この精神こそ、甲南で得た財産

立野 純三さん 1970年法学部卒業



僕は法学部の卒業で建築の専門知識がなかったものだからこの会社に勤め始めた当時は、人と違う点で何か一番にならなければという意識が強かった。それで当時アメリカの市場で売っていたクロゼットドアを目を付け、「日本でも必ず売れるから」と社長を説得し、ウチでの販売を開始したんです。ところが、これがさっぱり売れなくてね笑。当然推薦した責任もあるし、そこからはもう死にもくるといって営業活動をしたなあ。そうしたら、もう無理かなと思っていた5年目くらいに波が来て、爆発的に売れ始めたんですよ。わからないものですね。何にせよこの成功が僕の中で大きな自信になったことは確かです。そして思い返してみると、僕がこんなにもがむしゃらになつて頑張れたのは、実は、甲南時代に受けた教えがあったからだと思う。あの頃の先生は、僕ら学生の欠点をとや

かくおっしゃらなかった。それより、むしろ長所をほめ、「遊びでも健康でもいい、これだけは絶対人に負けない」という部分を持つ者が伸びるんだ」と、何でもいから、諦めずが一番を狙っていく姿勢の大切さを教えていただきました。クロゼットドアの成功は、僕がこの精神を發揮し、自分の企画を断固として遂行できたからでしょう。いまは代表取締役となり、会社を引っばる立場に就きましたが、このポジションで求められるのはやはり他社に先手を打っていく行動力だと感じています。とくに近年は景気が低迷しているから、どの企業もすっかり守りに入っているけれど、ウチのやり方は違う。これまで業界で初めてカラーカタログを作ったり、民間で初めてテレビ会議を取り入れたりしてきたように、今後も、甲南で学んだことを生かして、先に先駆者であり続けていくつもりです。

PROFILE

甲南大学法学部を卒業後、株式会社ユニオンに入社、1990年に代表取締役社長に就任。急成長企業の二代目社長として辣腕をふるう一方、造形文化財団を設立するなど、建築界の若手を育成する支援事業にも積極的。また、NPO組織、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの理事長も務める。

立野さんの甲友録

- 末野明義さん
1970年経済学部卒業
現在、昭和貿易(株)勤務
- 寺山力さん
1969年経営学部卒業
現在、寺山金属(株)勤務
- 河村隆郎さん
1970年経済学部卒業
現在、大同化学工業(株)勤務

同窓会 Information

甲南高等学校 同窓会総会のご案内

—ふり返ってみよう高校時代!—

日時:8月25日(日)
場所:甲南高等学校
会費:¥1,000
内容:
13:00 母校見学(震災後新築となった校舎見学)、恩師による模擬授業および懇談(浜口先生、山中先生、柿原先生ほか多数の恩師が出席されます)
14:00 同窓会 総会
14:30 昔懐かしいウエスタンカーニバル 同窓会版
16:00~17:00 懇親ビールパーティ
甲南高等学校ホームページ
<http://www.hs.konan-u.ac.jp>
来場時のご注意
駐車場がないため、電車・バスをご利用ください。

卒業生 TOPICS

稲畑産業(株)の稲畑勝雄会長が、 藍綬褒章を受章。

本年春の叙勲で、1957年甲南高校を卒業、現在、稲畑産業(株)の会長として活躍中の稲畑勝雄さんが、藍綬褒章を受章されました。藍綬褒章とは、教育・衛生・殖産開発などの事業を興し、公衆の利益に大きな功勞をもたらした方などに送られる褒章の一つです。

甲南フォーラム KONAN FORUM

2001年度

学位記・卒業証書授与式

3月25日、甲南大学講堂兼体育館において、2001年度学位記・卒業証書授与式を挙行。吉沢英成学長の式辞、戸山晶夫前理事長の祝辞、そして自治会中央委員会の則直委員長の送辞が、大学院生85人、学部学生2116人の卒業生に送られ、理学部の河原裕憲さんが答辞を述べました。



最後は、一同による学園歌斉唱。卒業生は、高らかな歌声とともに、社会に巣立っていきました。

また、甲南高等学校は2月19日、トゥレー又甲南学園高等部は3月1日に卒業式を行いました。

2002年度入学宣誓式

2002年度大学入学宣誓式が、4月5日、甲南大学講堂兼体育館で実施されました。今年度は学部生2320人が晴れて岡本キャンパスの門をくぐり、本式典に



出席。まず、吉沢英成学長から、大学の4年間は35000時間にも及びます。しかし、この膨大な時間で短い時間を有効に過ごせるかどうかは他でもない、皆さんが自分に自分を耕していくにかかっているのです」と激励の式辞を受けました。その後は、新たに就任した池上吉藏理事長の

甲南フォーラムは、読者の皆さまと甲南学園の交流ページ。お寄せいただいたお便りと学内情報で構成してまいります。

つきましては、次回から、皆さまのお便りで作る企画、誌上で激論、「これってどう思いますか?」を行いますので、22ページのテーマをご確認のうえ、どしどしご意見をお寄せください。

祝辞に続き、大学院を代表して自然科学研究科化学専攻の江畑和人さんが、学部を代表して文学部社会科学科の八木麻美さんが、それぞれ入学を宣誓。その後、文化会のアーククラブと女声合唱団アモロソがリードして学園歌を斉唱し、おそかな雰囲気の中で式を終えました。

また、甲南中学校は4月9日、トゥレー又甲南学園は4月10日に入学式を行いました。

第1回ロースクール講演会

甲南大学ロースクール(法科大学院)設置委員会は、5月14日、第1回ロースクール説明会を行いました。ロースクールには多様な学生に門戸を開くことが求められ、法律以外のバックボーンを持つ人をも積極的に受け入れるよう検討されています。説明会には、文学部や理工学部など法学部以外の甲南学生、甲南高等学校の生徒、他大学の学生、社会人など300人以上が集まりました。吉沢学長設置委員会委員長の開会のことばに引き続き、ロースクール制度に関する一般的・個別的な説明がなされました。本学では平生精神に基づいた、双方向の少人数教育ときめ細やかな個別指導を取り入れられる予定で、「レジスロー」の分野にも力を入れていることが



特長となっています。説明会終了後には、さまざまな質問が寄せられ、参加者の関心の高さがうかがわれました。

要説環境法

南 博方、大久保 規子[法学部教授] 著
(株)有斐閣 ¥2,200(税別)



Performance Analysis of Multi-Channel and Multi-Traffic on Wireless Communication Networks

Wuyi Yue[岳 五一] 理工学部教授] Yutaka Matsumoto 著
Kluwer Academic Publishers
本書の出版は伊藤忠兵衛基金出版助成による



情報文明学の構想

高度情報化社会と文明の共存
吉沢 英成[経済学部教授] 編
以文社 ¥3,500(税別)



A TOUS LES ECHOS 21
(エコー21 CD付き [180の例文で覚えるフランス語文法])
南館 英孝、中村 典子[国際言語文化センター助教授] 著
(株)駿河台出版社 ¥2,500(税別)

甲南大学の
教員が執筆した
新刊
レビュー

学業成績のとくに優れた学生を、学部ごとに特別表彰

各学部で2001年度末の成績優秀者が表彰されました。学部改編のあった文学部、理工学部では、4年次生のみを対象に、3年次までの成績を基準にして優秀者を決定し、経済学部、法学部、および経営学部では、年次ごとに優秀者を決定しています。文学部50人、理工学部43人、経済学部41人、法学部48人、経営学部43人が表彰を受けました。



EBA総合コース オープニングセレモニー開催

4月5日5号館の講義室にて、EBA総合コース学生、保護者を対象としたEBA総合コースオープニングセレモニーが開催されました。池上理事長、吉沢学長、杉村副学長、村国際言語文化センター所長、松谷甲南学園顧問、EBA高等教育研究所教職員などが出席。学長の式辞、理事長および顧問の祝辞の後、教員紹介が行われました。

第129回現代講座 元・サッカー日本代表、永島昭浩氏が熱く講演

4月21日、第129回「現代講座」が開かれました。講師は、元サッカー日本代表の永島昭浩氏。「夢に向かって」をテーマに、初めてサッカーボールに触れた小学校時代から、現役時代、その後解説者となった現在まで、サッカー一筋の人生の中で感じたことを熱く語り、「しっかりと目標を定めることが大切」と結びました。テレビで憧れていた「トロー」を身近に、来

場者たちも興奮。最後の質問コーナーでは、次々と挙がる手がいつまでも止まりませんでした。



新入生へクラブ紹介 Enjoy school life!

新入生に対し、クラブの活動を紹介する「新歓祭」。今年も、大学生生活を充実させてほしいとの思いから、楽しいイベントも盛りだくさんに張り切って企画。4月3日から5日にかけて開催されました。2号館前の特設ステージでは、ピンコ大会、クイズ大会の企画の合同に音楽・演系・合唱系研究系のクラブが自クラブを紹介。また、108のクラブなどがキャンパス内にブースを設け、説明と勧誘を行いました。



学館祭実施委員会主催による、新入生熱烈歓迎セレモニー

5月13日から17日にかけて、学館祭実施委員会の主催による第33回「学館祭」が開催されました。今年のテーマは「祭人」。2号館前の特設ステージでのオープニング・セレモニーや、トローの北野誠氏による講演会、献血コーナーを設けての社会貢献、その他にもパティエヤ・コントなどを行うステージ企画、ラウンジを使用したスリルいっぱいのアトラクション、小ホールを用いた「恐ろしい企画」、恒例行事のダンスパーティーなど、最後まで大いに盛り上がりました。



お知らせ

第34回総合研究所公開講演会

- 【日時】6月8日(土)午後3時
- 【場所】132講義室
- 【講師】堀直教授(文学部歴史文化学科)
- 【テーマ】「文明の衝突か、対話か」

カウンセリングセンター・学生相談室講演会

- 【日時】6月15日(土)午後3時
- 【場所】813講義室
- 【講師】河合雄氏(文化庁長官)
- 【テーマ】「異文化を学ぶとは」

教育懇談会・父母の会定期総会

全父母を対象に、本学の現状報告をはじめ、学生の修学状況・就職・留学に関する質問、ご相談にお応えする教育懇談会を開催します。ぜひお越しください。なお、同日、午前11時から813講義室で、父母の会の定期総会が開催されます。

- 【日時】6月29日(土)午後1時
- 【場所】甲南大学本校舎
- 【プログラム】中田善啓経営学部教授(就職部長)による講演「就職戦線の動向」、個別相談、大学施設見学、課外活動の発表などを行います。

教育懇談会(中国・四国地区)

- 【日時】10月13日(日)午後1時
- 【場所】ホテルグランヴィア岡山
- 【プログラム】岡山、広島、鳥取、島根、香川、兵庫西部の父母を対象に、教育懇談会を開催します。

夏期公開講座

- 【日時】7月17日(水)19日(金)22日(月)24日(水)26日(金)29日(日)
- 【時間】午前10時～午後11時30分
- 【定員】50名(高校生以上の女性対象)
- 【場所】講義室兼体育館
- 【講師】北岡守教授、鶴木千加子助教授
- 【受講料】3,000円(6回分、テキスト代、備書保険料、消費税込)
- 【受付期間】6月10日(水)～19日(水)(消印有効)
- 【復旧】6月10日(水)～19日(水)(消印有効)
- 【会場】バドミントン教室
- 【日時】6月1日(木)～2日(金)
- 【時間】午前10時～午後3時40分

就職部からのお知らせ

「甲南就職講座」は、1～3年次生を対象に、就職活動以前にできるだけ多くの業界・企業を知っていただくことを目的として開催しています。

- 日程・テーマ
- 5月8日「自分でデザインする就職術」 NHK大阪アナウンサー 森 吉弘氏
- 5月15日「2001年就職戦線総括」 株式会社「アイスコ」 北井 洋氏
- 5月22日「成長企業の見極め方」 日本経済新聞社大阪本社編集局次長兼 経済部長 斎藤 修一氏
- 5月29日 マスコミ業界
- 6月5日 IT関連業界
- 6月12日 アパレル業界(株)ジャヴァ
- 6月19日 運輸業界
- 6月26日 医薬品・MR職・外資系企業
- 場所・時間
- 5号館521講義室
- 午後4時30分～午後6時

EVENT SCHEDULE

- 6月 文化会フェスティバルハイキング(2日) 第34回総合研究所公開講演会(8日) カウンセリングセンター・学生相談室講演会(15日) 大学教育懇談会(29日)
- 7月 体育会フェスティバルハイキング(6・7日) 前期講義終了(13日) 補講日(15日) 前期試験(16・30日) 夏期公開講座「バドミントン教室」(17・29日) 大学オープンキャンパス(31日) 夏期休暇(31～9月20日)
- 8月 夏期公開講座「バドミントン教室」(1・2日) 大学オープンキャンパス(7日) 前期末学位記・卒業証書授与式(20日) 後期講義開始(21日)
- 9月

来号より、誌上で激論『「むい」について思いますが』をスタート！皆さま方の率直なご意見をお聞かせください。

次回より、ハガキでお送りいただく皆さまのご意見で、誌上討論を行っていく企画誌上で激論「これってどう思いますか？」を開始します。

今回は、本誌でも特集した「就職」がテーマ。『もし、自分が企業面接官なら、採用したいと思う学生』についてお答えください。また、いままで通り、「ご意見」「感想のお便り」もお待ちしております。もちろん本誌同封の「はがき」に必要事項などを記入の上、「ご投稿」ください。

編集後記

卒業生向けにお送りしてきた広報誌「甲友」と統合し、ますます内容の充実を図った今回の「甲南Today」。これまでの読者の皆さま、新たに本誌をお届けさせていただいた卒業生の皆さま、いかがでしたでしょうか。

本誌は、この統合を機会に、これまで以上に、学園と皆さま同士を結びつける「コミュニケーション誌」として充実していきたいと考えております。お気づきの点がございましたら、忌たんのない「ご意見」「感想」をお寄せくださいますようお願いいたします。

次号予告(2002年9月発行予定)
NETWORK KONAN
つながる甲南ネットワーク
甲南の教育力を探る

甲南Today No.10

発行日/2002年5月31日
発行/甲南学園広報室
〒658 8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL(078)431 4341(代)
印刷/大日本印刷株式会社